

回覧

大更地区社協の事業についてのお知らせ

1, 大更地区社協とは＝

「大更地区社協」は、大更地区社会福祉推進協議会が正式名称で、市内各世帯から、八幡平市社会福祉協議会へ戸別にご協力頂いている「一般会費」のなかから、交付金を受けて運営している社会福祉協議会の「下部組織」です。

事業としては、児童福祉や高齢者福祉活動を行っており、その主な事業として

- ・一人暮らし高齢者や家族と同居の独り身高齢者の交流会
- ・一人暮らし高齢者への「年越しそば」のお届け
- ・子どもの居場所づくり「おおぶけキッズカフェ」（子ども食堂）の運営
- ・三世代交流事業への支援（育成会などへの助成金交付）
- ・大更小学校新入生への「入学祝い品」の贈呈 などを行っています。

2, 子ども食堂は＝

子どもの居場所づくりの一環で、地域の宝でもある小学生を対象に、

- ・私たちが住んでいる「おおぶけ」の由来や、産業・文化・伝統を理解してもらうことをねらいとして、令和3年から実施しています。

今年度も、奇数月の第2土曜日と固定し、年間6回開催の予定です。

次回は7月12日に開催します。

名称を「おおぶけキッズカフェ」と称し、「食事を作ってもらえない」とか、「食べられない子どもだけが集まる場所ではないよ。大更小学校の児童であればだれでも来ていいんだよ」とPRし、児童の参加料は無料で実施しています。会場は大更コミュニティセンターですが、遠方の方は家族の方の送迎にご協力いただいています。（送迎の保護者の参加も受け入れています）



3, 三世代交流事業支援活動＝

大更地内の自治公民館や育成会などが主催して、地域住民を対象に行う「三世代交流事業」へ、参加児童生徒の数により、助成金を交付して支援しています。

開催計画や助成金申請などについては、地区の民生児童委員にお問い合わせ下さい。

助成金の交付基準は下記のとおりです。（R7年は基準額見直しました）

助成金額 参加児童・生徒数（小中学生、1育成会又は1集落年度1回限り）

15人まで	15,000円	20人まで	20,000円
25人まで	25,000円	25人以上	30,000円